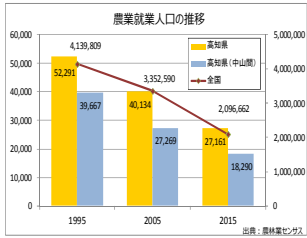


大規模直売所を核とした複合施設による中山間地農業の所得向上

中山間地農業の現状

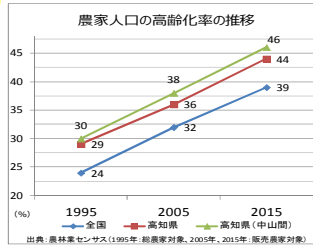
担い手の減少

20年間で
半数に減少!



農家の約半数
が高齢者!

高齢化の進行



産地の縮小

一方

中山間地域には、
・特色のある農畜産物
・美しい景観や食文化など
豊富な資源を有している強みがある!

その強みを活かすためには、大消費地の
都市部での、農畜産物を販売する直売所
の整備は大変有効な手段である

大規模直売所を核とした複合施設の役割

- ▶ 県内全域の農畜水産物の販売 → 地消の拡大
- ▶ 観光客や県外の大消費地で地域の特産品を販売 → 外商の拡大
- ▶ 農家レストランでの伝統料理の提供 → 食文化の継承
- ▶ 料理教室や地域のイベント開催による都市住民との交流 → 交流の拡大

地消の強化

外商の強化

中山間地域の
拡大再生産

地産の強化

交流の拡大

中山間地農業
の所得向上

中山間地域

◆ 地域特有の新鮮な農畜産物
や特産品



◆ 地域の農業・食文化・伝統
などの情報



◆ 農業体験・農泊・イベント等
の開催



外商の拡大で“地産強化”の相乗効果

大規模直売所を核とした複合施設



国内外からの観光客を呼び込むことで“交流拡大”の相乗効果

外商の拡大

県外の大消費地
での販路開拓

輸出の強化

外国人観光客

◆ クルーズ客船等の外国人
観光客のツアー先

県外観光客

◆ 高知 IC に近く県外
観光客のランドマーク

県民

◆ ふるさとを感じ、応援
する県民

県内の大消費地

園芸連を中心とした中山間地域の農産物の集出荷

「中山間地域所得向上支援事業」による支援

- ・中山間地域に特化した総合的な支援策としては初めて
- ・生産から加工・流通・販売までをソフト・ハードの両面から支援

市街化区域での大規模直売所
の整備が事業対象となれば、

中山間地域の所得向上に
つながる

【提言】

- ◆ 平成29年度補正予算での「中山間地域所得向上支援事業」の継続実施と、十分な予算の確保
- ◆ 中山間地農業の所得向上につながる市街化区域での大規模直売所の整備を事業対象にする

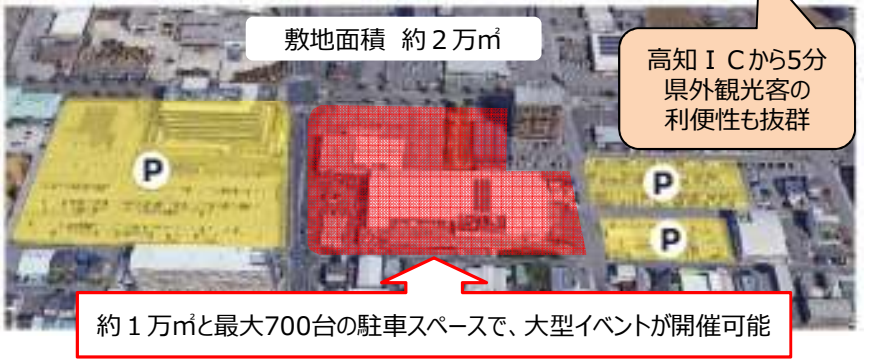
大規模直売所を核とした複合施設構想

(食・地域・自然を発信する拠点)



- セレクトショップ
- 農家レストラン
- 地域情報ターミナル
- イベント広場
- キッチンスタジオ
- JA支所

大規模直売所
全国最大級の売り場面積
 $A = 1,360\text{m}^2$
 延床面積 $A = 2,500\text{m}^2$
 (1F : $2,050\text{m}^2$ 2F : 450m^2)
 ◆概算工事費 : 7億8千万円

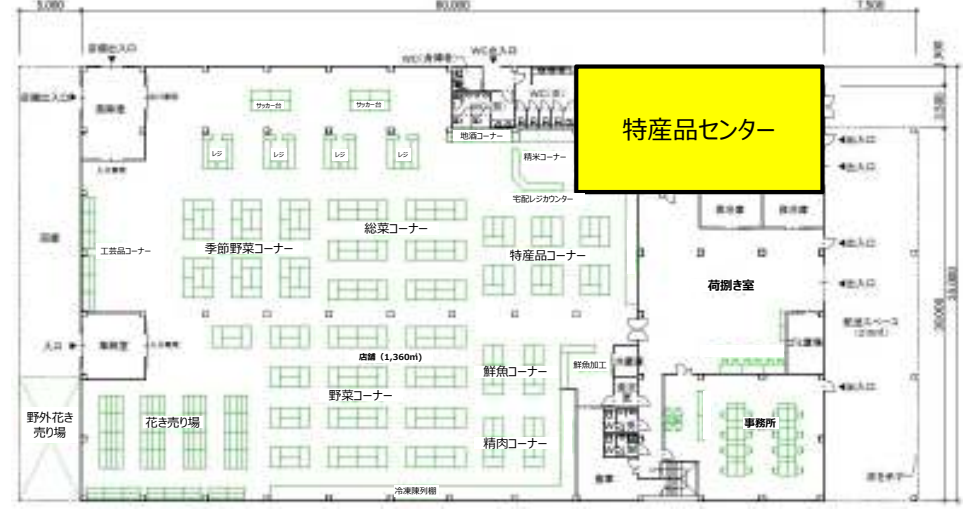


高知 I Cから5分
 県外観光客の
 利便性も抜群

県内の入込客数
 年間約120万人 (現状客数から推計)

県外からの入込客数
 年間約360万人も対象

大規模直売所・特産品センター 平面図



ふるさと交流館

- セレクトショップ
 - ・県全域の特産品販売
 - ・県内加工品のチャレンジショップ
- 農家レストラン
 - ・郷土料理の提供
- キッチンスタジオ
 - ・地域の食文化を伝える料理教室
- イベント広場
 - ・全天候型のイベントスペース
 - ・地域のイベントのプレ告知など幅広く利用可能
- 地域情報ターミナル
 - ・食、地域、自然の体験プログラムを提供

事業概要スケジュール

項目	平成29年			平成30年								平成31年										
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
大規模直売所	建築工事	基本設計		実施設計			発注準備			発注	建築工事				完成	5月オープン						
	集荷対策	集荷方法検討			集荷意向調査・ルール作成				JA・生産者説明				出荷者募集									
	外商対策	外商方法検討			外商担当配置				販路開拓・PR営業				外商スタート									
複合施設	改築工事	基本設計			実施設計				発注準備				改築工事				8月オープン					
	事業参入	提案作成			参入業者への提案				業者決定				オープン準備									